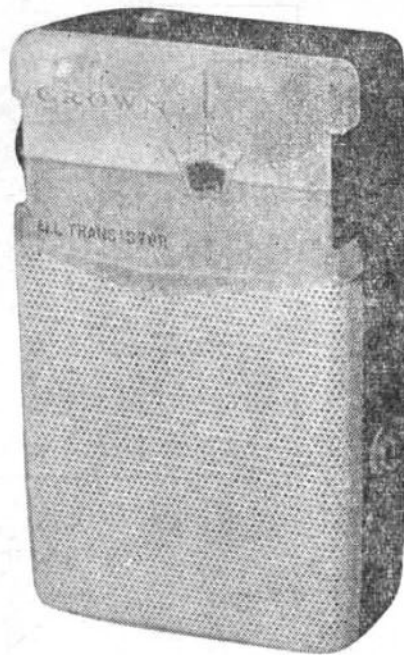
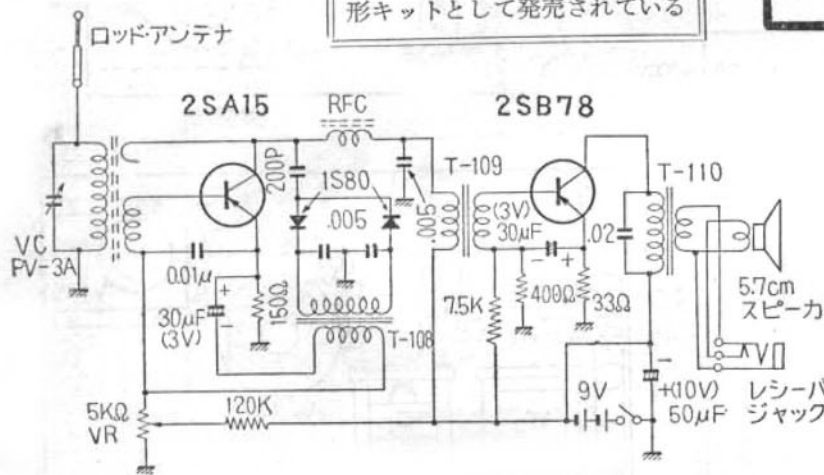
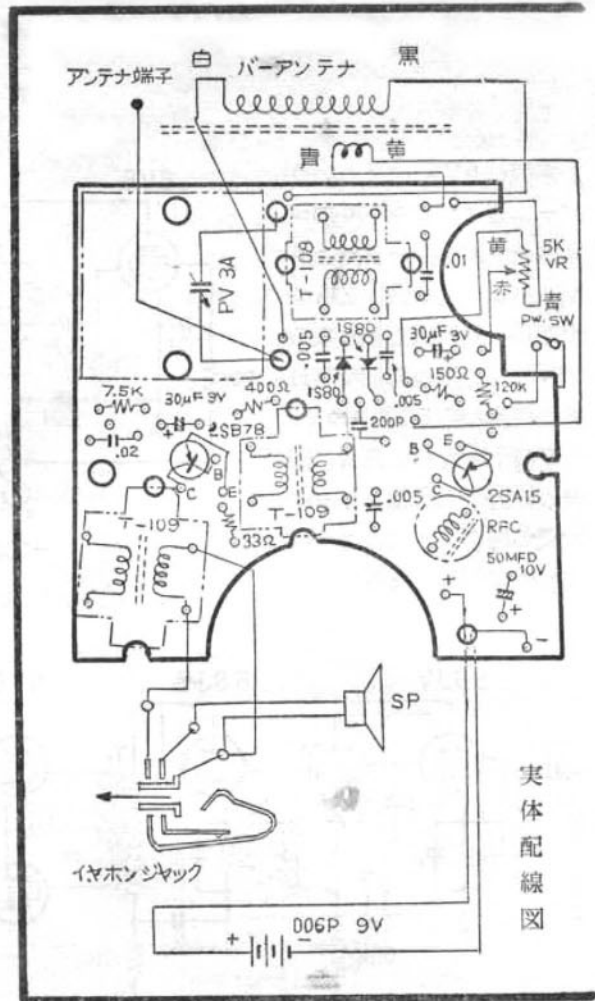


スピーカが鳴る 2石ポケットラジオ

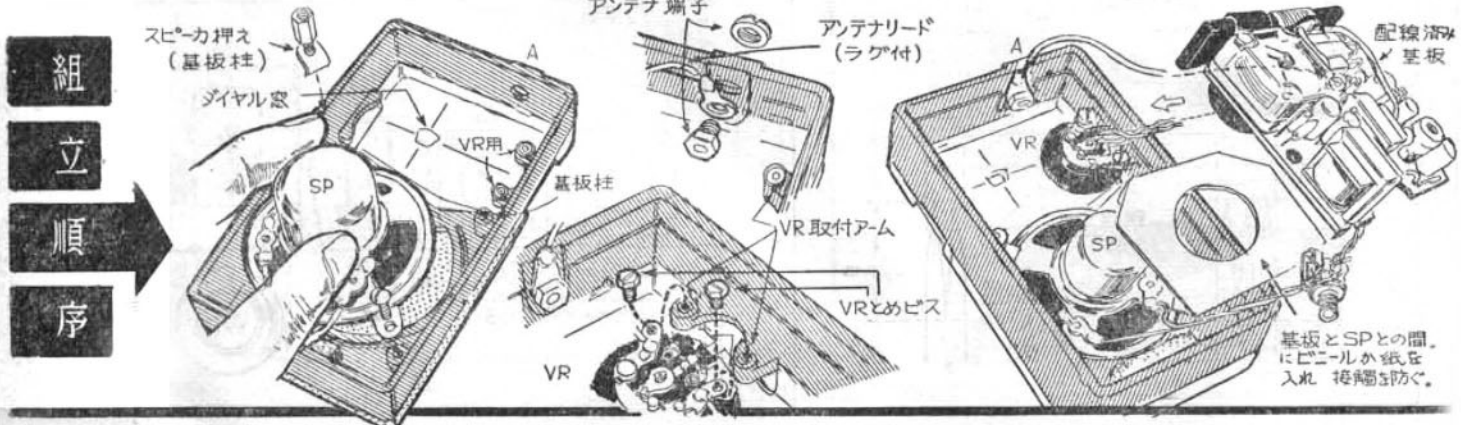
たった2石のTRラジオですが、レフレックス方式と、倍電圧検波を採用しているため、3石分の働らきをしています。つまり、2SA15で高周波増幅された放送波は、ダイオードで検波され（2倍の検波電圧が得られる）、ふたたび2SA15に加えられて低周波増幅された後、段間トランスを通じて2SB78により、同じく低周波増幅をします。なお、感度調整は、2SA15のベース・バイアスを5kΩのボリュームで可変しています。



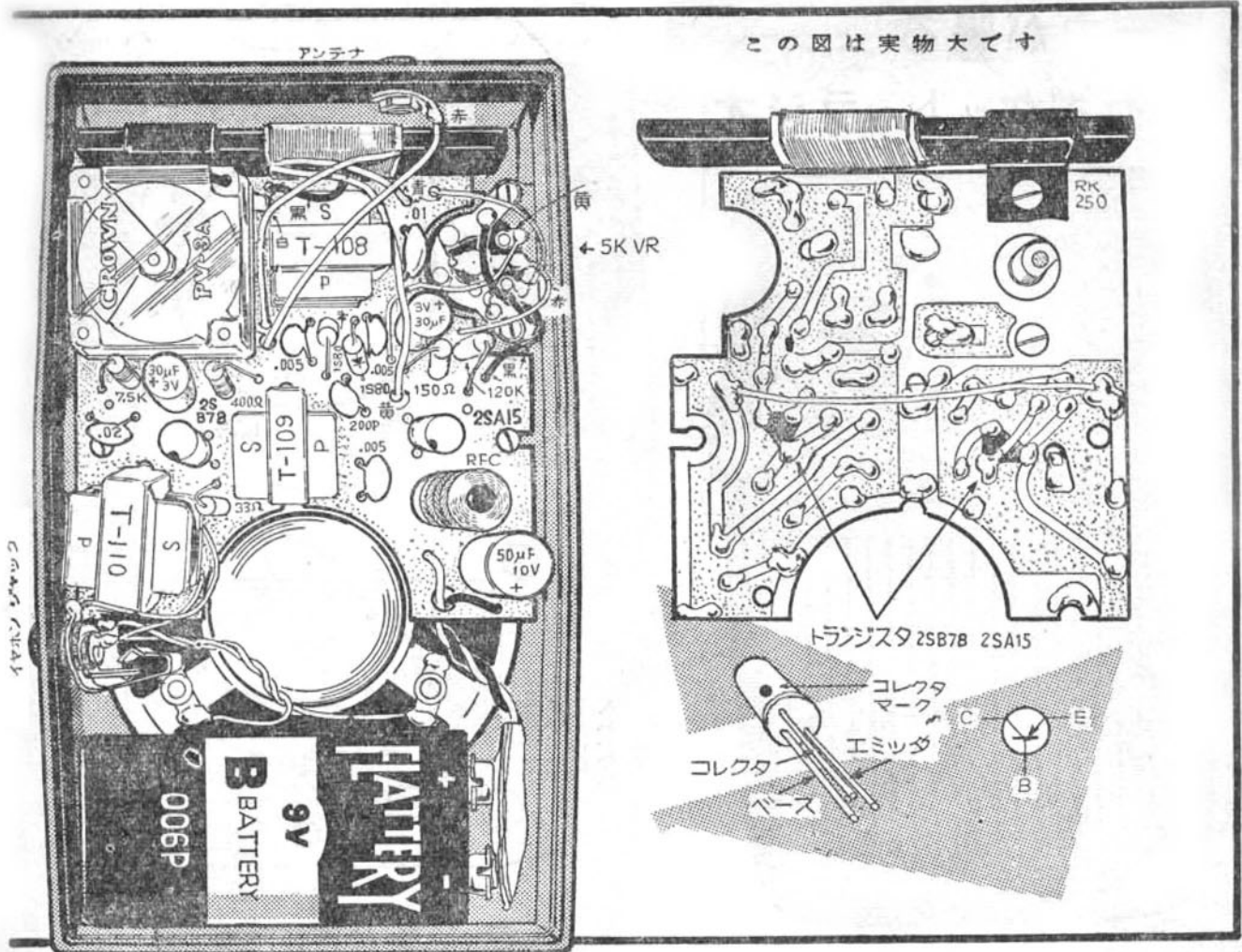
このセットはクラウンTK-R250形キットとして発売されている



ハンダづけする場合はリードをよくみがいて、ハンダがすぐつくようにして下さい。プリント基板の配線は、あまり熱を加えると銅箔がとれてしまったりします。トランジスタは熱に弱いので、ピンセットではさんだりして、直接熱が加わらないようにします。コイルはリードが切れやすいので、他の部分が全部終わってからやります。イヤホン・ジャックの配線は間違えやすいので、上の実体図をよく見て下さい。



組立順序



配線が終わったら、回路の誤りをチェックした後、調整にうつります。まず電池スナップの片方だけつなぎ、他方の間にテスタと電流計を入れ、動作電流が5~12mA (ボリューム最大) くらい流れれば良いでしょう。今度はダイヤルを回せば、どこかで必ず放送を受信できるはずで、600 kc と 1400 kc 前後の放送を受信し、ダイヤル目盛に合うように、ダスト・コアのアンテナ・コイルを動かします。コイルをダストコアの中央に持つて来れば、一番インダクタンスが大きく、はじへ行けば、Lは最小となります。

